

令和3年度 林業普及週間現地情報 (7/12～7/16)

森林管理課

吉田サバニ造船 丸木舟製作見学

7月14日 (水)

令和3年7月14日(水)、沖縄県八重山農林水産振興センター職員は吉田サバニ造船の丸木舟製作に関する見学を行った。

使用されている材は、昨年度、平得県営林から佐藤林業に払い下げしたリュウキュウマツで、径は約70cmあり、大径材に分類される。

吉田サバニ造船 代表 吉田氏は、サバニを造る傍らサバニツアーも行っている。

現在のサバニは、木材を継ぎ合わす本ハギという技法で造られており、丸太以上の幅の造船も可能である。しかし、吉田氏は、現在のサバニの形を伝統的な丸木舟で再現したいとの思いで、今回の丸木舟製作に試行錯誤しながら取り組んでいる。

また、今年、平得県営林から伐採予定のリュウキュウマツを活用し、「山から木を伐り、丸木舟を造り海へでる」というプロジェクトを来年2月頃からスタートする予定で、林業そして島の材木のPRになればと話している。

さらに本ハギのサバニや丸木舟が造られる過程で発生する端材から、生活雑貨等を造る取り組みもしており、「木に囲まれたライフスタイル」を提案し、来年度にブランド化を目指している。

現在、製作している丸木舟は、途中経過であるため、今後も製作過程を見学させていただき、リュウキュウマツの需要の一つとして、普及に取り組む。



丸木舟 (製作途中)



端材を利用した食器

(報告者：八重山農林水産振興センター 金城(智)、金城(彰))